



坂口多美子活動ニュース

六十谷水管橋事故をうけ 水道ビジョンの見直し

六十谷水管橋の崩落事故から1年が過ぎました。いま、和歌山市は紀の川北部地域への安定給水に向けて、送水管の複線化・新浄水場の建設等について、有識者や市内各種団体の代表者を交えての「新水道事業ビジョン検討会議」を行っているとのこと。

新浄水場建設には多大な費用と長い期間が必要になるため、水道料金に与える影響も検討しているとのこと。現在、「送水管の複線化・新浄水場建設(案)」へのパブリックコメントを募集しています。期間は10月6日～11月4日まで。市のホームページ、各コミセン、市役所で行っています。



市議員・坂口多美子

趣味はバイクです

晴天を見ると、愛車のVTRに乗って走りだしたくなります(笑)。

実際は、月に1〜2回程度しか乗れません。それでも一日中自然の中を走ると、気分スッキリ、「明日も頑張ろう!」という気持ちになります。

走るの、ほとんど和歌山県内。どこに行っても海・山・川など、自然がとても美しく、改めて和歌山の良さを感じているところです。

たくさんの方から「気を付けてよ」と声をかけていただきますが、怖がりなので安全運転で走っております。



日高川町・椿山ダムヘツーリング

排除ベンチから

まずつくりを考えている

ベンチの真ん中に仕切りがあり、横になろうと思っても仕切りが邪魔をして横になれない、写真のようなベンチは、ホームレスが長時間滞在できないようにする意図があることから「排除ベンチ」と呼ばれています。排除ベンチは、駅前広場や市内の公園にたくさんあります。設置した担当課は「パリアフリー」の観点から高齢者の立ち上がりに配慮して採用した」と言いますが、そうであれば、つくり手の無自覚がもたらした「パリアフリー空間」と思えてなりません。



湊北公園にある排除ベンチ

一般質問で医療保健体制の強化を要望

〈本市における保健医療体制について〉
 コロナの感染拡大により、入院が必要な病状でも入院できないといった事態が和歌山市でも起こりました。

保健所や医療機関のひっ迫を招いた背景には、政府が進めてきた、保健所の統廃合、地域医療構想にもとづく病床削減、診療報酬の抑制などが関係していることは明らかです。全国では、ここ20年ほどで、保健所は半減、感染症病床は9210床が1882床まで減らされてきました。本市でも3か所あった保健所は1か所に、64床保有する感染症に対応した城南病院がなくなったことを考えると、大きく環境は変わっています。本市の感染症病床はたった8床という状況でコロナの感染拡大が起こりました。

新型コロナウイルス感染症は、公衆衛生上の課題であり、公衆衛生は憲法25条を根拠にしています。誰もが、健康で文化的な最低限度の生活が送れるように、公的責任で、生活の場に、福祉も社会保障も公衆衛生も網の目のように張り巡らせることが必要です。

市民のいのちを守るために必要な病床数の確保と人員の確保を、きちんと次の地域保健医療計画に位置付けるべきです。

また、保健医療体制の強化を進めていくには、診療報酬の抜本的な引き上げなど、財政支援は欠かせず、国へ求めていくことも大切と考えます。

問…市民の命を守る保健医療体制にしていくために、市として財政支援等の強化を、国へ求めていくべきだと思いが、市長はどう思つか。

答…地域の実情に応じた保健医療体制となるよう関係機関を通じて国へ要望する。



9月議会で一般質問を行う

☆無料生活相談所☆

医療や福祉・暮らし・法律などお気軽にご相談ください。

〈場所〉さかぐち多美子事務所
 和歌山市西庄 274

〈時間〉平日の午後 1時から4時まで
 で受け付けています

〈電話〉073-454-0538



和歌山市議団 6 人力合わせて頑張ります

ご意見など、お気軽にお寄せください

連絡先：日本共産党和歌山市議団 073-435-1113